

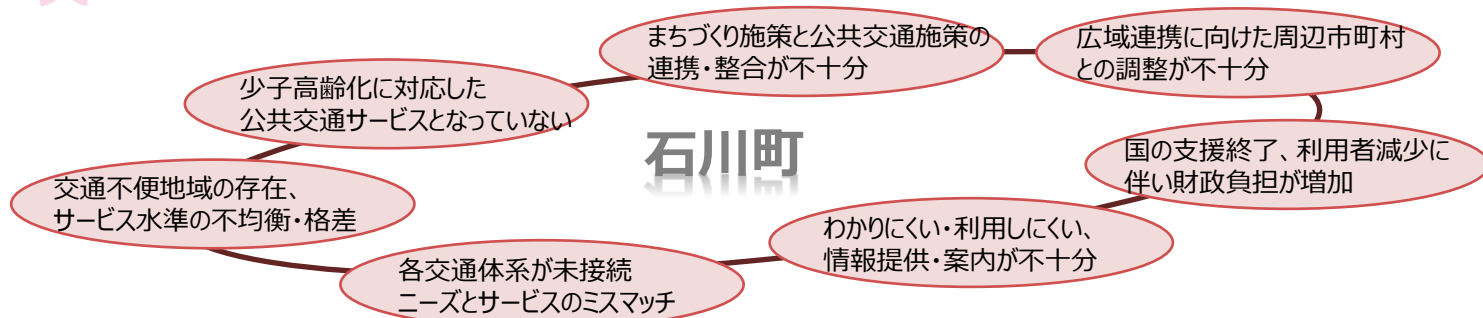
石川町地域公共交通網形成計画【概要版】

1 策定の趣旨

本町では鉄道、路線バスをはじめとして、民間運営による医療施設送迎バスなど、複数の交通サービスが運行していますが、利用者数の減少や町民ニーズの変化など様々な課題を抱えています。

将来的に持続可能な公共交通を構築するため、本町の特性や町民ニーズの変化等を踏まえた、まちづくりと連携した公共交通の基本的な方針と施策体系を示す「石川町地域公共交通網形成計画」を策定します。

2 公共交通における7つの課題



3 施策の推進体制

本計画に基づき町民や交通事業者、国・県・町により構成される公共交通活性化協議会において事業の進捗管理及び効果測定等の管理を行うとともに、各主体との連携により着実な事業の実施を図ります。

各分野の団体・企業

まちづくり
商業・観光
健康・福祉

石川町地域公共交通活性化協議会

行政

交通事業者

町民

関係機関

道路管理者

有識者

国・県

関係団体等

周辺市町村
町民団体
NPO 等

4 計画の期間

本計画は平成29年度から平成34年度までの6年間を計画期間として、上位計画である「石川町総合計画」の見直しと合わせて本計画の見直し・モニタリング等を実施します。

H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	
石川町地域公共交通網形成計画 (H29~H34)						次期計画	
第5次総合計画後期計画						計画見直し	計画改定
第6次総合計画 (平成31~平成40年度:予定)							

策定 平成29年 3月

編集 石川町

〒963-7893 福島県石川郡石川町字長久保185-4

TEL:0247-26-2111 FAX:0247-26-0360

5 石川町が目指す公共交通の将来像

本町の公共交通における現状と課題を踏まえ、将来的に持続可能な公共交通の維持・確保に向け、本計画における基本方針（目指す公共交通の将来像）を定めます。また、数値目標については、計画終了年度の平成34年度における達成を目標とし、途中年度におけるモニタリング等の実施により、事業の進捗管理を行います。

基本方針

みんなが主役となり、町民協働による持続可能な交通まちづくり
 ～「交通」で「まち」をつなぎ、広域連携を目指したコンパクト+ネットワークを形成～

基本目標とその達成をはかる指標

基本目標 1

広域連携・まちづくりと一体となった持続可能な交通体系の構築

目標の概要

- 周辺市町村との整合が取れた地域公共交通の再編を図ります。
- 各交通体系の役割を明確化し、まちづくりに寄与します。

指標	現況値 (H28)	目標値(H34)
公共交通の運行カバー率	46.6%	70.0%

基本目標 2

誰でも安心して外出でき、地域に応じた交通システム導入による再編

目標の概要

- 車がなくても「外出」できる交通システム導入による再編を図ります。
- 各地域にあった高品質な公共交通サービスの提供を行います。

指標	現況値 (H28)	目標値(H34)
町民の公共交通の利用率	11.7%	13.0%

基本目標 3

誰もがわかりやすく・使いやすい交通環境づくり

目標の概要

- 誰でも迷わず使える公共交通環境づくりを推進します。
- 地域公共交通の再編に伴い、PRなどを通して利用促進を図ります。

指標	現況値 (H28)	目標値(H34)
公共交通施策の認知度 (どのように運行しているかわからない割合の減少)	8.3%	5.0%
情報発信方法・わかりやすさの満足度 (不満を感じる割合の減少)	29.1%	20.0%

基本目標 4

様々な主体と協働・連携し、みんなが主役の交通まちづくりの推進

目標の概要

- 「商業」「観光」「医療」「学校」等、地域づくりの様々な主体と協働・連携し、みんなが主役の「交通まちづくり」を推進します。

指標	現況値 (H28)	目標値(H34)
地域協働事業の実施件数 (地域公共交通の利用方法説明会の開催件数)	0件	3件

プロジェクト・施策

1. 地域公共交通網再編プロジェクト

- 施策 1-1 広域路線の品質改善・サービス向上
- 施策 1-2 中心街ゾーンバスシステムの導入

2. 交通不便解消プロジェクト

- 施策 2-1 小需要に対応した予約制交通の導入検討
- 施策 2-2 交通不便地域対象のタクシーチケット補助制度の導入検討

3. 交通結節点・待合環境再構築づくりプロジェクト

- 施策 3-1 ゾーンバスシステムを支える拠点づくり
- 施策 3-2 待合スペースのリニューアル・改善

4. わかりやすい利用環境づくりプロジェクト

- 施策 4-1 公共交通に関する案内・情報の発信
- 施策 4-2 乗り降りしやすい車両に順次更新
- 施策 4-3 企画乗車券等の導入検討

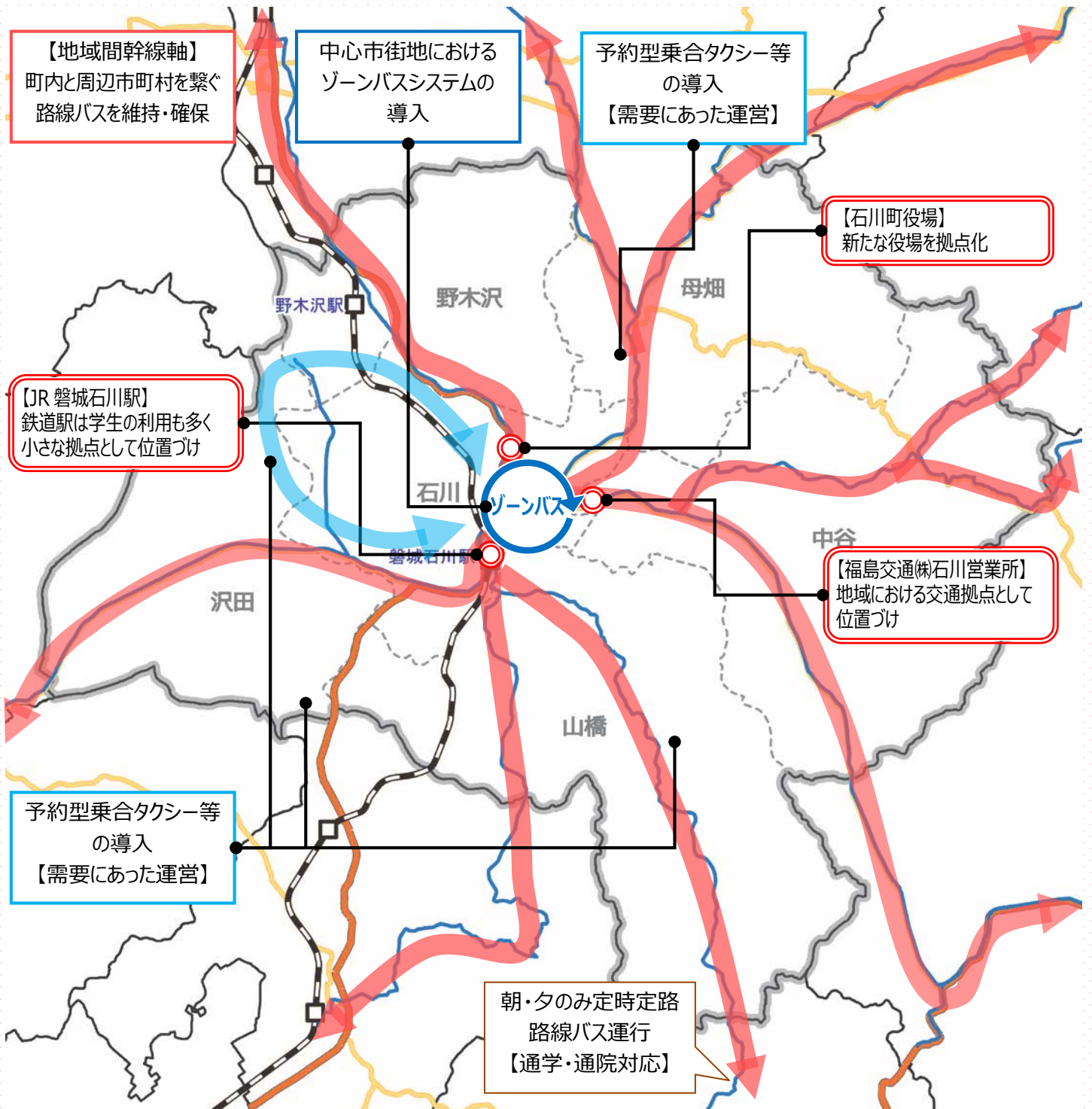
5. みんなが主役・協働推進プロジェクト

- 施策 5-1 住民と連携・協働による交通まちづくり
- 施策 5-2 観光・健康・福祉等の各施策と連携した取り組み
- 施策 5-3 モビリティマネジメントの実施

公共交通ネットワークの将来イメージ

計画期間：6ヶ年

平成29年度～平成34年度（6ヶ年）



公共交通凡例	
	鉄道
	鉄道駅
	国道
	主要地方道
	バス路線

凡例	
	地域間幹線交通
	地域内交通
	交通結節点

ソフト施策

- ①再編に伴う利用促進策の実施
→試乗イベント・利用体験
→鉄道と連携した料金施策の検討
→広域地域間路線バス・鉄道との乗り継ぎに配慮
- ②上限運賃設定等の運賃体系の導入検討
- ③住民主体運行に向けた組織化の検討
- ④免許返納等へのインセンティブ検討

6 目標を達成するための施策・事業

基本方針及び公共交通の将来像の実現、基本目標の達成に向けて、町民・交通事業者・行政等の各主体が連携し、施策・事業を展開・実施します。

地域公共交通網(再編)プロジェクト

本町の観光振興、健康増進を支え、周辺市町村との広域連携・まちづくりの発展と一体となった効率的かつ柔軟な交通サービスの提供を目指した公共交通ネットワークの構築を図ります。

1 広域路線の品質改善・サービス向上

周辺市町村と一体となった路線バス再編を図り、地域間交流・連携に寄与するネットワーク形成を図ります。

1. 地域間バスを維持・確保しつつ、利用需要に合わせた再編
2. 町外への通院、町外からの通学等、目的行動に合わせた運行サービスの再編

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 (福島交通(株)石川営業所) 石川町	再編実施 計画の作成	路線バスの再編				

2 中心街ゾーンバスシステムの導入

「石川町役場」「磐城石川駅」「福島交通(株)石川営業所」の3拠点を經由するゾーンバスシステム導入を検討します。

1. 「石川町役場」「磐城石川駅」「福島交通(株)石川営業所」の3拠点を經由するゾーンバスシステムの導入検討

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 (福島交通(株)石川営業所) 石川町	再編実施 計画の作成	中心街ゾーンバスシステムの導入				

リーディングプロジェクト

- 「ゾーンバスシステム」とは、路線が長いバス系統を整理し、乗換拠点となる「ミニバスターミナル」を設け、中心部・市街地などまでの「基幹・幹線バス」と「支線バス」を区分することで、ゾーン内の利便性向上、定時性の確保等、効率的な運営を図るシステムのことです。導入事例として、東北地方では岩手県盛岡市「松園地区ゾーンバス」があります。
- 本町においても周辺市町村から運行している区間が長い路線を町内3拠点で区分し、広域路線ネットワークの再編と通して、町内における「ゾーンバスシステム」の導入を検討するものです。



▲ゾーンバスシステムのイメージ (盛岡市)

交通不便解消プロジェクト

「路線バスが入れない・利用者が少ない」地区を対象に、タクシーを活用した予約制交通の導入やタクシーチケット補助等、既存の交通資源を活かした、新しい交通サービスの導入の可能性を検討します。

1 小需要に対応した予約制交通の導入・検討

「交通不便地域」を対象に、事前登録、定時・乗降箇所設定による予約型乗合タクシー等の導入の可能性を検討します。

1. 予約型乗合タクシー等の導入に向けた事業計画の検討・協議
2. 予約型乗合タクシー等、実証実験の実施と効果検証を踏まえた本格導入の検討

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 (タクシー事業者) 石川町	再編実施 計画の作成	実証運行 効果検証	本格運行 (PDCAサイクルに基づく見直し改善)			

2 交通不便地域対象のタクシーチケット補助制度の導入・検討

町内・町外を必要最低限外出できるようタクシーを活用したチケット補助サービス導入の可能性を検討します。


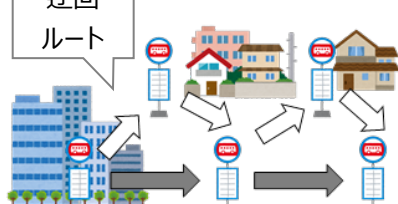

1. タクシーチケット補助制度の導入検討

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 (タクシー事業者) 石川町	事業企画 検討	庁内調整 事業者協議	補助制度の導入・検討			

リーディングプロジェクト

- ・「予約型（デマンド型）乗合タクシー」とは、出発地・目的地の入口まで送迎を行うタクシーの利便性と路線バスのように乗合による低運賃化のメリットを兼ね備えた移動サービスです。全国各地で利用需要が少ないエリアを対象に導入されています。
- ・本町においても路線バスを利用できない「交通不便地域」が存在していることから、必要最低限の移動、外出機会の提供を図るため、タクシー事業者が自立し、持続可能なデマンド乗合タクシーの導入を検討します。

定時定路線型	迂回運行型	区域運行型
<ul style="list-style-type: none"> ・定まったルート・停留所を運行 ・設定された運行時間帯に利用者がいない場合は運休 ・予約が必要であることを除けば、通常の路線バスとほぼ同様の運行形態 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートの一部が予約専用ルート ・予約のある場合はデマンドルートを経由 ・迂回運行の有無で所要時間が変化 ・定時定路線方式に比べ、サービスレベルは高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートを定めずエリアを運行 ・乗降ポイントと目的地の連絡が必要 ・ドアtoドアのためサービスレベルは高い ・対象エリアが限定されるため、乗り継ぎ等が必要
<p>需要大エリア 予約不要</p> <p>需要小エリア 要予約</p> 	<p>迂回ルート</p> 	<p>対象外エリア間の利用はできない</p> 

▲予約型交通サービスの運行方式の一例

交通結節点・待合環境再構築プロジェクト

交通結節点としての機能性・利便性の向上と、町内の駅舎やバス停等の待合環境において、安心して待つことが出来る交通環境の確保を図ります。

1 ゾーンバスシステムを支える拠点づくり

ゾーンバスシステムの導入により、主要拠点の交通結節点機能を強化するとともに、利便性向上を図ります。

1. 主要拠点における乗り入れ環境・待合環境の改善
2. バスロケーションシステム・接近情報案内等の設置検討

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 石川町	事業者協議		主要拠点における環境改善・拠点づくり			

2 待合スペースのリニューアル・改善

「石川町役場」「磐城石川駅」「福島交通(株)石川営業所」の3拠点の、待合環境の改善を検討します。

1. 主要なバス停における待合スペースの改善
2. 沿道施設を活用した待合スペースの整備

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 石川町 住民・地域	改善箇所の 検討・選定	改善に向けた 協議・調整	待合スペースの整備・改善			

リーディングプロジェクト

- 本町にゾーンバスシステムを導入した際に主要な拠点となる、石川町役場、磐城石川駅、福島交通(株)石川営業所の3拠点において、交通結節点としての機能向上を図ります。
- 路線バスの乗り入れが可能な拠点においては、接続性向上に向け乗り入れ環境の改善を図るとともに、簡易的なバスロケーションシステム及び接近情報案内等の設置等による待合環境の改善を図り、ミニバスターミナル化を目指します。



▲駅とバス停の接続事例（伊達市 阿武隈急行保原駅）



▲駅のバスロケーションシステム（岐阜県 JR多治見駅）

わかりやすい利用環境づくりプロジェクト

公共交通に関する案内や情報発信を充実させ、利用者の利便性向上を図るとともに、新たな利用者の取り込みを図ります。

1 公共交通に関する案内・情報の発信

公共交通の一体的なマップや時刻表・料金表の作成等を活用した情報発信を検討します。

1. 一体的な公共交通マップの作成
2. 主要なバス停等にバスロケーションシステム等を活用した運行情報の発信

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 石川町	事業者協議 内容協議	マップ作成 箇所設定	公共交通に関する案内・情報の発信 バスロケーションシステム等、導入・設置			

2 乗り降りしやすい車両に順次更新

路線バスやタクシー等においてバリアフリー・ユニバーサルデザイン等に対応した車両の導入を推進します。

1. 路線バス車両におけるノンステップバスの導入推進
2. タクシー車両におけるユニバーサルデザインタクシーの導入推進

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 石川町	事業者協議		乗り降りしやすい車両の導入推進			

3 企画乗車券等の導入検討

企画乗車券等を事業者と協議・調整します。

1. 町内で利用できる企画乗車券の導入検討

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 石川町	企画・立案	事業者 協議・調整	企画乗車券等の導入に向けた検討			

リーディングプロジェクト

- 鉄道・路線バスの運行経路等が一体となった折り畳み式の公共交通マップ等の作成を検討します。
- スマートフォンを活用し、SNS等による運行情報の発信やバスの位置情報の発信等を検討します。

- 交通事業者における車両更新の際には、路線バスはノンステップバス、タクシーにおいてUD（ユニバーサルデザイン）タクシー等の導入を推進します。



▲持ち運びに便利なバスマップ・時刻表（八戸市）



▲ノンステップバス車両（庄内交通）



▲UDタクシー

みんなが主役・協働推進プロジェクト

住民、地域をはじめとして、公共交通を支える体制づくりに向け、各主体と交通が連携した施策展開を行います。

1 住民と連携・協働による交通まちづくり

考える「場」の創出や公共交通に対する地域が主体となった取り組みを推進します。

- 1.公共交通について考える懇談会・検討会の開催
- 2.地域が主体になった公共交通の環境改善・体制づくり

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 石川町 住民・地域	意見交換会・ 住民懇談会		地域主体の 取り組みに 向けた検討	地域が主体となった公共交通の 環境改善・体制づくり		

2 観光・健康・福祉等の各施策と連携した取り組み

観光イベントや健康・福祉施策等と交通が連携した施策展開を図ります。

- 1.観光施設やイベントと連携したパッケージサービスの展開
- 2.まち歩きを促す企画・商品等のサービスの展開

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 石川町	企画・立案		事業者・関係 団体協議	各施策と連携した取り組み		

3 モビリティマネジメントの実施

地域、住民や企業等が自発的に公共交通を利用できる仕組みづくりに向け、モビリティマネジメントの展開を図ります。

- 1.石川町役場職員を中心にしたノーマイカーデーの実施
- 2.企業等による通勤等の推進支援

実施スケジュール・実施主体

実施主体	H29	H30	H31	H32	H33	H34
交通事業者 石川町	協議・調整		モビリティマネジメントの実施			

リーディングプロジェクト

- 公共交通に対する住民意識の醸成に向けた、考える「場」の創出として、地域の自治会・老人クラブ等との意見交換会・懇談会等を定期開催します。
- 考える「場」は、意識醸成の度合いによって、段階的な発展を図ります。
- 地域が主体となった公共交通を実施する際には、モデル地域を設定し、優先的な取り組みの推進を行い、他地域への展開を図ります。

参画レベル	項目
↑ ↓	地域が主体となった交通サービスの検討
	路線バスの利用促進協議会の立ち上げ
	住民・地域で協賛金等を供出
	公共交通サポーター制度の導入
	既存施設を待合施設として活用
	地域住民によるバス停の環境改善
	利用促進イベント等へ主体的な参加
	公共交通の改善に向けた検討会等へ参加
公共交通の意見交換会に参加	

▲地域における公共交通の取り組み・参画方法